

# リオン株式会社

## 2018年3月期第1四半期 決算ダイジェスト

東証一部 証券コード：6823

【免責事項】本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

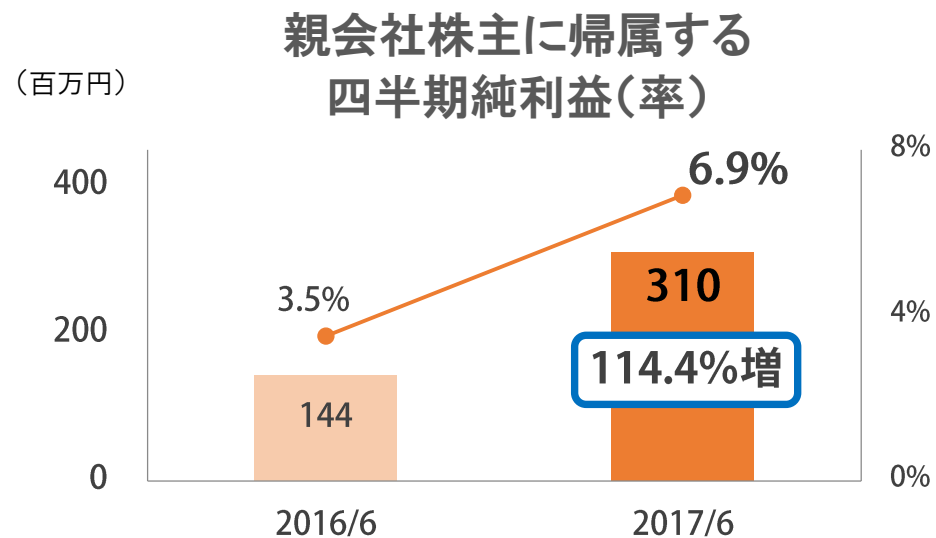
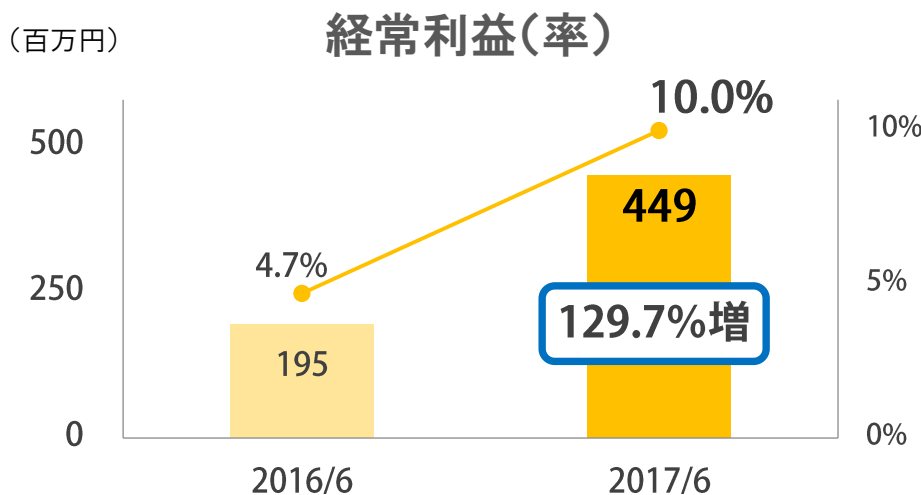
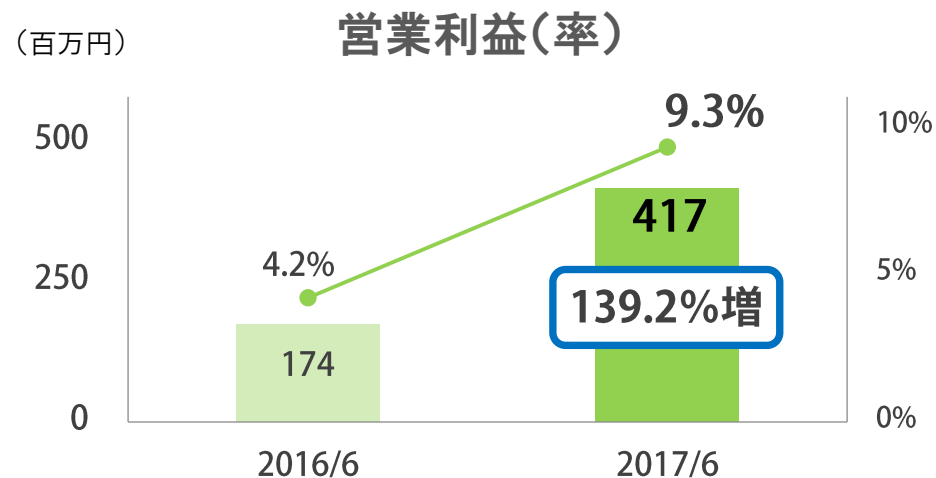
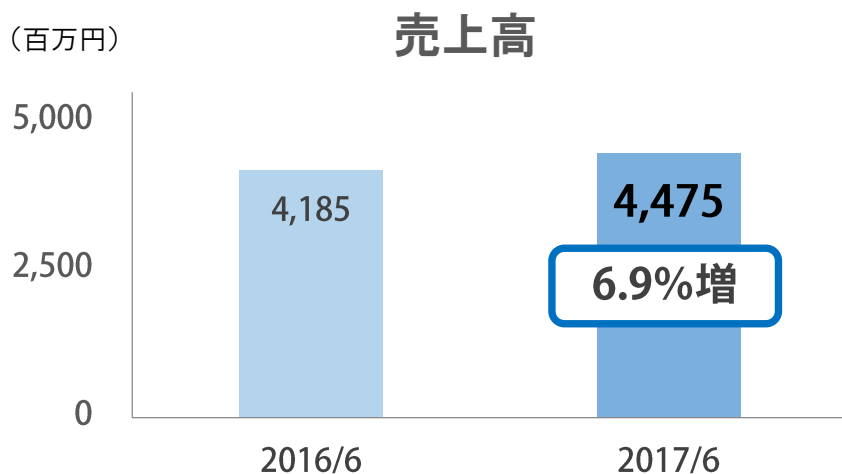
## 前年同期比で増収増益となる

- 医療機器事業の販売が伸び悩んだものの、環境機器事業の販売が好調に推移し、増収増益に。

## 期初予想に変更はなし

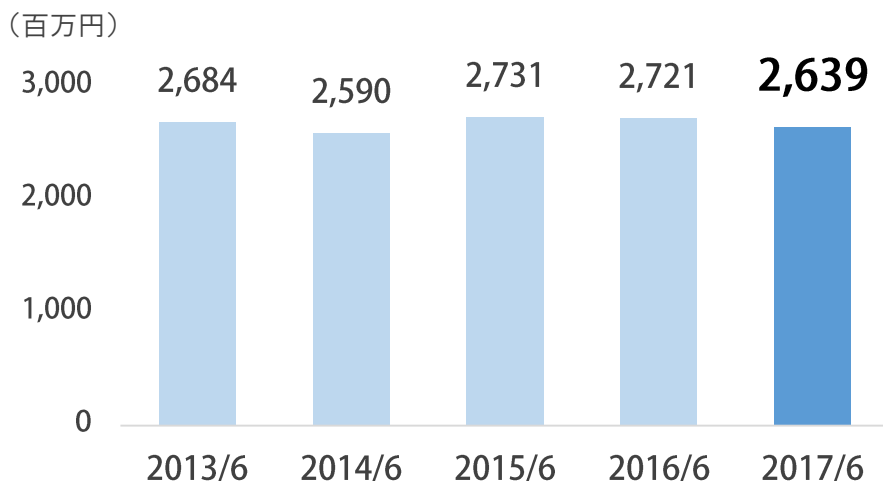
- 医療機器事業は補聴器の新製品投入や医用検査機器の買替需要の捕捉等により、売上高の回復を目指す。
- 環境機器事業は音響・振動計測器では騒音計や振動計の需要が増加予想。微粒子計測器の販売は引き続き好調に推移する見込み。

# 決算ハイライト (連結)

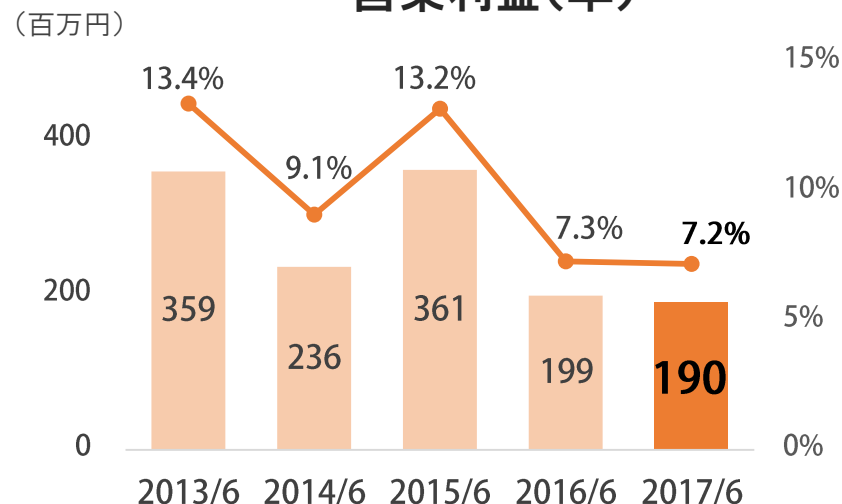


### 前年同期と比べて減収減益に

#### 売上高

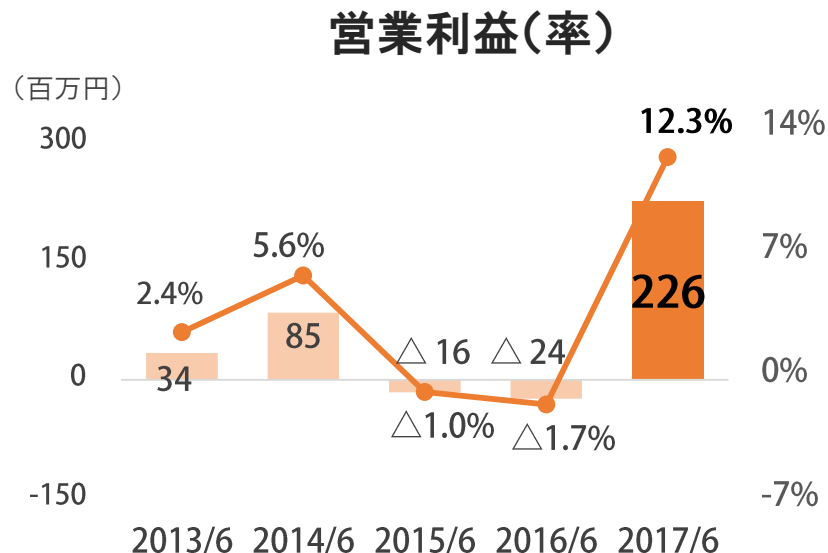
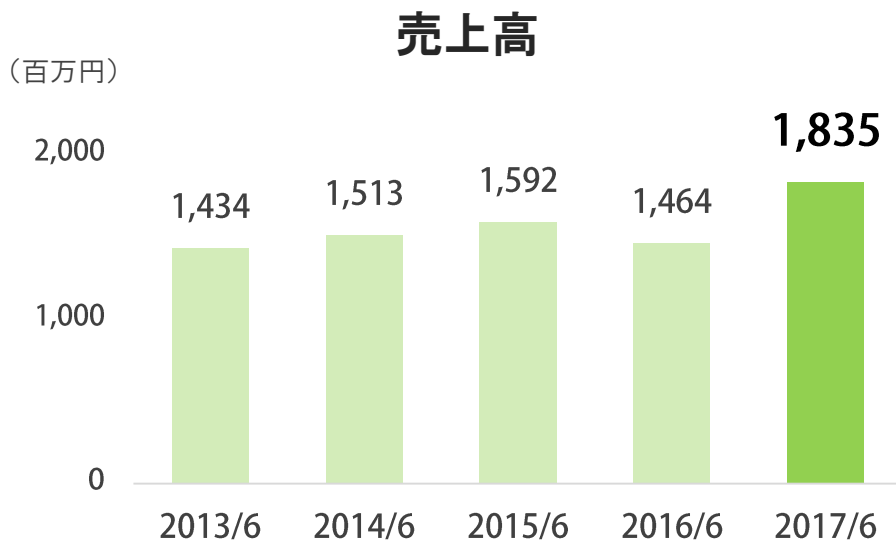


#### 営業利益(率)



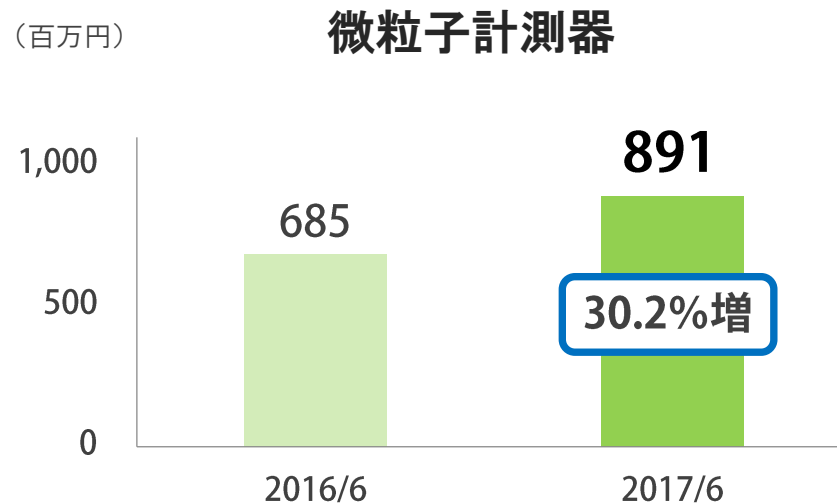
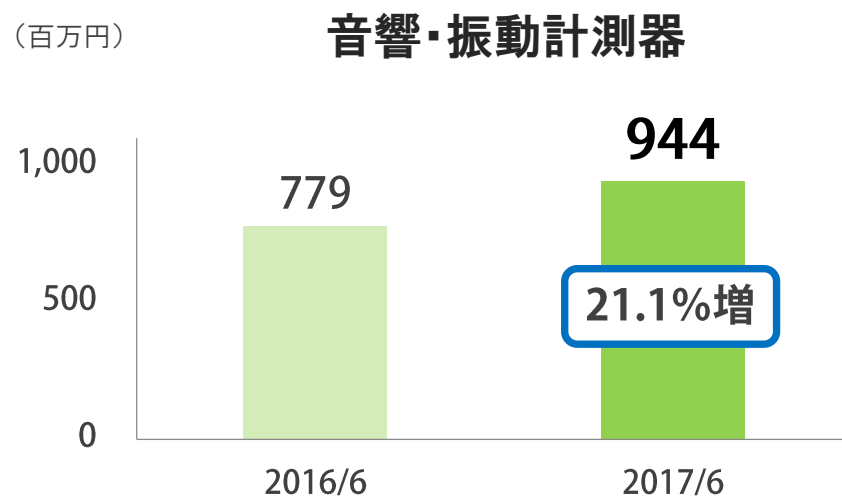
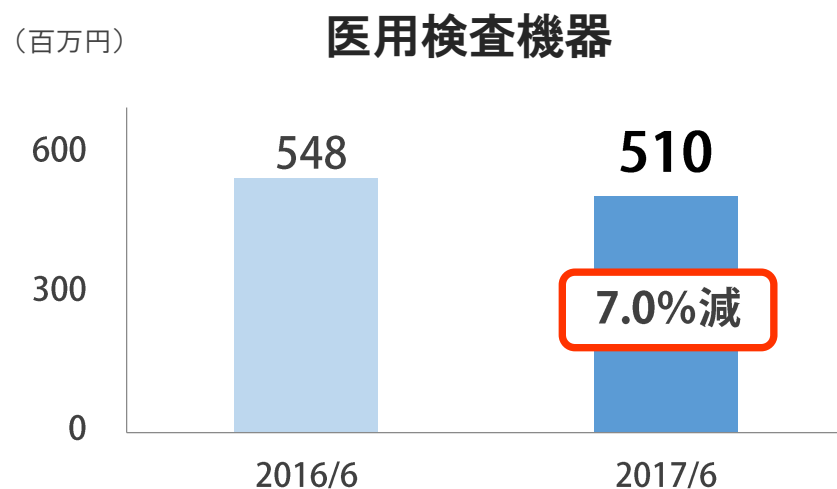
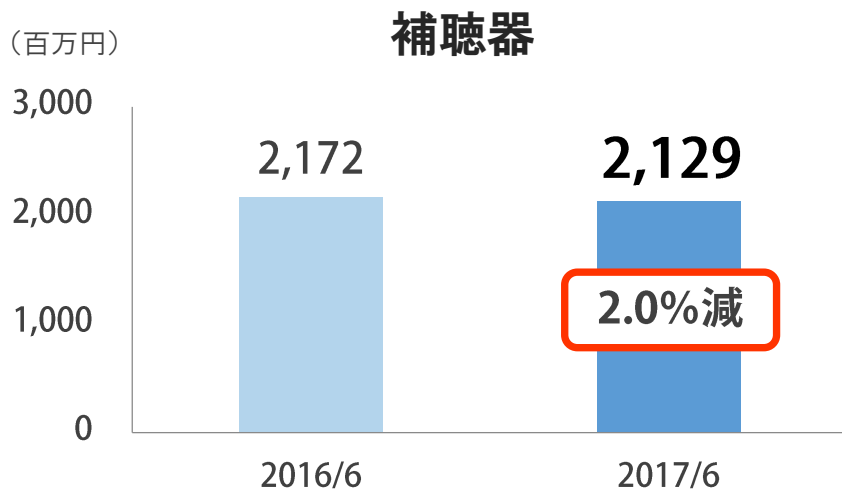
- 補聴器は昨年発売した製品が好調な売れ行きを示したものの、低価格帯製品の販売が伸び悩み減収に。
- 医用検査機器は大型の聴力検査室の販売が好調に推移したが、大口受注があった前年同期の売上高には及ばず。

### 大幅な売上増により増収増益



- 音響・振動計測器は建設工事の活況により騒音計や振動計の販売が好調に推移。自動車産業等における受注が回復傾向にあり増収に。
- 微粒子計測器は電子デバイス関連市場での液中微粒子計の販売が好調。気中微粒子計の販売もハンディタイプを中心に増加。

# 製品群別の売上高の推移



4月20日 [人事異動に関するお知らせ](#)

---

4月25日 [オーディオメータ「AA-M1A」を新発売](#)

---

5月09日 [技術情報誌「Shake Hands」Vol.4発刊](#)

---

5月10日 [株式会社BONXとの業務提携](#)

---

5月18日 [2017年3月期決算説明会を実施](#)

---

7月20日 [ハノイでセミナーを開催（ベトナム国立労働・環境衛生研究所と共催）](#)

---

※ 下線はURLリンクが付いています。